

貸借対照表

株式会社太豊テクノス

(2017年 3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	1,508,341,069	流動負債	549,931,467
現金預金	13,013,009	支払手形	146,281,800
NSテックスエンシ`預け金	1,019,472,760	工事未払金	236,204,935
受取手形	12,800,438	未払消費税	13,714,600
完成工事未収入金	174,666,189	未払費用	13,345,817
製品売上未収入金	159,501,594	未払事業所税	2,361,953
材料貯蔵品	38,495,399	未払法人税等	26,585,600
未成工事支出金	49,265,355	未成工事受入金	17,760,600
未収入金	536,136	賞与引当金	91,322,600
仮払金	75,460	預り金	2,353,562
前払費用	1,183,079		
短期繰延税金資産	39,331,650		
固定資産	51,589,559		
(有形固定資産)	49,294,052	負債合計	549,931,467
建物	33,931,113	純資産の部	
構築物	946,560	株主資本	1,009,999,161
機械装置	654,465	資本金	40,000,000
車両運搬具	7,229,585	資本剰余金	3,000,000
工具器具・備品	6,532,329	その他資本剰余金	3,000,000
(無形固定資産)	1,675,507	利益剰余金	966,999,161
ソフトウェア	707,477	利益準備金	10,000,000
電話加入権	968,030	その他利益剰余金	956,999,161
(投資その他の資産)	620,000	別途積立金	600,000,000
長期保証金	620,000	繰越利益剰余金	356,999,161
		純資産合計	1,009,999,161
資産合計	1,559,930,628	負債・純資産合計	1,559,930,628

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

未成工事支出金は個別法による原価法、材料貯蔵品は主として移動平均法によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。

但し、平成10年4月以降に取得した建物(建物付属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法によっております。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっています。

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。当事業年度はこれによる損益に与える影響はありません。

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産はリース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

3. 賞与引当金の計上基準

従業員の賞与支給に備えるため次回従業員賞与支給見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準

当期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事進捗度の見積は原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

II 当期純損益額

当期純利益 61,911,891円